

労働保険料等徴収及び納付簿の具体的記載例

例1	確定不足が生じた場合	……………	P130
例2	全期分が一括交付された場合	……………	P131
例3	過納により充当が生じた場合	……………	P132
例4	過納により充当及び還付が生じた場合	……………	P133
例5	滞納の一括交付を受けた場合	……………	P135
例6	各期に一部滞納がある場合	……………	P137
例7	年度途中の委託解除に伴う減額確定還付の場合	……………	P138
例8	年度末(3月31日)の委託解除に伴う還付の場合	……………	P139
例9	6月1日～9月15日の間に新規成立委託した場合	……………	P140
例10	9月16日～12月15日	” ……………	P141
例11	12月16日以降に新規成立委託した場合	……………	P142
例12	組機様式による徴収及び納付簿記載例	……………	P143

労働保険等
労働保険料等徴収及び納付簿

様式第17号(第68条関係)(表面)

【例1】
確定不足が生じた場合

労働保険番号		府県	所掌	管轄	基幹番号			枝番号		
① 事業場の区分	② 事業の名称			③ 事業場の所在地(電話)				④ 事業の種類 (労災保険率表による)	⑤ 成立している保険関係 (イ) 労災保険及び雇用保険 (ロ) 労災保険 (ハ) 雇用保険	⑥ 委託年月日 年 月 日
				電話()-() 番						
⑦ 確定保険料・概算保険料・一般拠出金の額										
R4 年度 確定	(イ) 確定保険料 円		(ロ) 申告済概算保険料 円		(ハ) 充当額((ロ)-(イ)) 円					
	257,455		148,908							
					(ニ) 還付額((ロ)-(イ)) 円					
					(ホ) 不足額((イ)-(ロ)) 円		108,547			
		(ヘ) 一般拠出金				166				
R5 年度 概算	(ト) 概算保険料額		(チ) 差引納付額 ((ト)-(ハ))		第1期分		194,366 (85,819)			
	257,455		257,455		第2期分		85,818			
					第3期分		85,818			
⑧ 年月日	⑨ 記事			⑩ 納付すべき額	⑪ 事業主から領収した額 (月 日)	⑫ 政府へ納付した額 (月 日)	⑬ 事務組合 保管額 (⑩-⑫)	⑭ 納付未済額 (⑩-⑫)	⑮ 督促事項 金額 区分 受理年月日 通知年月日 指定期限	
R5年 5月8日	R4年 1期 確・保険料・追 R5年 概・拠出金・延 7月 10日			194,366 円	194,366 円 (6/23)	194,366 円 (7/10)	0 円	0 円	円	
R5年 5月8日	R5年 確・保険料・追 概・拠出金・延 7月 10日			166	166 (6/23)	166 (7/10)	0	0		
R5年 10月9日	R5年 2期 確・保険料・追 概・拠出金・延 11月 14日			85,818	85,818 (10/27)	85,818 (11/16)	0	0		
R6年 1月8日	R5年 3期 確・保険料・追 概・拠出金・延 2月 14日			85,818	85,818 (1/29)	85,818 (2/15)	0	0		
年月日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日				()	()				
年月日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日				()	()				
年月日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日				()	()				

【説明】

1. 194,366円は前年度確定不足額と当年度概算1期分を合算した金額であり、法定納期限7/10に納付する額である。(85,819)はR5年度概算1期分を示す。
2. ⑨欄の事項が発生した年月日を記入する(納入通知を伴う場合は、その通知日、還付なら事業場へ還付した日、充当なら政府へ納付した日など)。
3. 原則、納付期限日を記入する。

労働保険等

労働保険料等徴収及び納付簿

【例2】
全期分が一括交付された場合

様式第17号(第68条関係)(表面)

労働保険番号		府県	所掌	管轄	基幹番号			枝番号		
① 事業場の区分	② 事業の名称			③ 事業場の所在地(電話)				④ 事業の種類 (労災保険率表による)	⑤ 成立している 保険関係 (イ) 労災保険及び雇用保険 (ロ) 労災保険 (ハ) 雇用保険	⑥ 委託年月日 年 月 日
⑦ 確定保険料・概算保険料・一般拠出金の額										
R4 年度 確定	(イ) 確定保険料 円	(ロ) 申告済概算保険料 円	(ハ) 充当額((ロ)-(イ)) 円	25,985	【説明】 1. 充当額25,985円があるため、R5年度納付額は106,716円となる。 2. 充当額はすでに事業主から領収した扱いとなるため、この欄に記入する。 概算保険料の一括交付を受ける場合は、概算保険料から充当額を差し引いてから徴収する(132,701円-25,985円=106,716円)。 3. 充当額25,985円と概算1期納付額18,250円を合算した金額を記入する。					
	132,701	158,686	(ニ) 還付額((ロ)-(イ)) 円							
			(ホ) 不足額((イ)-(ロ)) 円							
(ヘ) 一般拠出金				218						
R5 年度 概算	(ト) 概算保険料額	(チ) 差引納付額 ((ト)-(ハ))	第1期分	18,250 (44,235)						
	132,701	106,716	第2期分	44,233						
			第3期分	44,233						
⑧ 年月日	⑨ 記事	⑩ 納付すべき額	⑪ 事業主から領収した額 (月 日)	⑫ 政府へ納付した額 (月 日)	⑬ 事務組合 保管額 (⑪-⑫)	⑭ 納付未済額 (⑩-⑫)	⑮ 督促事項 金額			
R5年 5月8日	R4年 1期 概算保険料・追 R5年 概算拠出金・延 7月 10日	44,235	充当 25,985円 106,716 (6/26)	44,235円 (7/10)	88,466円	0円	【説明】 4. 2期、3期分も6/26に一括交付されているため、⑧欄は6/26を記入する。 5. R5年度申告額を記入する。 6. 事業主から領収した額(充当分も含む)から政府へ納付した額を差し引いても残額が生じる場合は、事務組合保管額として必ず残額を記入する。保管額は保険料と一般拠出金を分けて累計額を記入する。			
R5年 5月8日	R5年 確・保険料・追 概算拠出金・延 7月 10日	218	218 (6/26)	218 (7/10)	0	0				
R5年 6月26日	R5年 2期 概算保険料・追 概算拠出金・延 11月 14日	44,233	0 ()	44,233 (11/16)	44,233	0				
R5年 6月26日	R5年 3期 概算保険料・追 概算拠出金・延 2月 14日	44,233	0 ()	44,233 (2/15)	0	0				
年月日	年 確・保険料・追 概算拠出金・延 月 日		()	()						
年月日	年 確・保険料・追 概算拠出金・延 月 日		()	()						
年月日	年 確・保険料・追 概算拠出金・延 月 日		()	()						

労働保険等
労働保険料等徴収及び納付簿

【例3】
過納により充当が生じた場合

様式第17号(第68条関係)(表面)

労働保険番号		府県	所掌	管轄	基幹番号		枝番号		
① 事業場の区分	② 事業の名称			③ 事業場の所在地(電話)			④ 事業の種類 (労災保険率表による)	⑤ 成立している 保険関係 (イ) 労災保険及び雇用保険 (ロ) 労災保険 (ハ) 雇用保険	⑥ 委託年月日 年 月 日
⑦ 確定保険料・概算保険料・一般拠出金の額									
R4 年度 確定	(イ) 確定保険料 円		(ロ) 申告済概算保険料 円		(ハ) 充当額((ロ)-(イ)) 円		66,942		
	87,426		154,368		(ニ) 還付額((ロ)-(イ)) 円				
					(ホ) 不足額((イ)-(ロ)) 円				
					(ヘ) 一般拠出金 円		86		
R5 年度 概算	(ト) 概算保険料額 円		(チ) 差引納付額 ((ト)-(ハ))		第1期分 円		0		
	87,426		20,484		第2期分 円		0		
					第3期分 円		20,484		
							29,142		
⑧ 年月日	⑨ 記事			⑩ 納付すべき額	⑪ 事業主から 領収した額 (月 日)	⑫ 政府へ納 付した額 (月 日)	⑬ 事務組合 保管額 (⑪-⑫)	⑭ 納付未 済額 (⑩-⑫)	⑮ 督促事項 金額
R5年 5月8日	R4年 1期 確・保険料・追 7月 既・拠出金・延 10日			29,142 円	充当66,942円 ()	29,142 円 (7/10)	37,800 円	0 円	<p style="color: red;">【説明】</p> <p>3. 1期分として29,142円納付したため、37,800円が保管額となった。</p> <p>4. 2期分も全額充当のため、⑪欄は0円となる。</p> <p>5. 3期分に充当する額は8,658円となるので、3期に領収する額は「29,142-8,658=20,484円」となる。</p>
R5年 5月8日	R5年 概 拠出金 延 10日			86	86 (6/23)	86 (7/10)	0	0	
R5年 10月9日	R5年 2期 確・保険料・追 11月 既・拠出金・延 14日			29,142	0 ()	29,142 (11/16)	8,658	0	
R6年 1月8日	R6年 3期 確・保険料・追 2月 既・拠出金・延 14日			29,142	20,484 (1/26)	29,142 (2/15)	0	0	
年 月 日	年 確・保険料・追 月 概・拠出金・延 日				()	()			
年 月 日	年 確・保険料・追 月 概・拠出金・延 日				()	()			
年 月 日	年 確・保険料・追 月 概・拠出金・延 日				()	()			

【説明】

1. (29,142)はR5年度の概算額を表す。
1期と2期は全額充当され、3期分へは8,658円が充当された。
3期分で交付を受ける額は、「29,142円-8,658円=20,484円」。

充当する順番は、①当年度の概算保険料 ②滞納保険料、延滞金、追徴金 ③一般拠出金 となる。

2. 充当額は既に事業主から交付されている扱いとなるため、本欄に記入する。

労働保険等
労働保険料等徴収及び納付簿

様式第17号(第68条関係)(表面)

【例4】
過納により充当及び還付が生じた場合
(充当額を概算保険料全期分に充当してもなお還付金が生じる場合)

労働保険番号		府県	所掌	管轄	基幹番号		枝番号			
① 事業場の区分	② 事業の名称			③ 事業場の所在地(電話)				④ 事業の種類 (労災保険率表による)	⑤ 成立している保険関係 (イ) 労災保険及び雇用保険 (ロ) 労災保険 (ハ) 雇用保険	⑥ 委託年月日 年 月 日
⑦ 確定保険料・概算保険料・一般拠出金の額										
R4 年度 確定	(イ) 確定保険料 円		(ロ) 申告済概算保険料 円		(ハ) 充当額((ロ)-(イ)) 円		75,286		【説明】 1. 申告済概算保険料額から確定保険料額を引いた額130,201円が保険料の過納額となるためR5年度概算保険料へ充当する。全期分75,286円へ充当しても、なお余りがあるため、一般拠出金へ充当した。 したがって「過納額130,201-概算保険料全期分75,286-一般拠出金190=54,725円」が還付される。	
	75,286		205,487		(ニ) 還付額((ロ)-(イ)) 円		54,915			
	(ヘ) 一般拠出金				(ホ) 不足額((イ)-(ロ)) 円					
							190			
R5 年度 概算	(ト) 概算保険料額		(チ) 差引納付額 ((ト)-(ハ))		第1期分		0		裏面の「⑩返還金額」欄に、還付金を事業主へ還付した年月日、還付に至った理由、還付額を記入	
	75,286				第2期分		(25,095)			
					第3期分		(25,095)			
⑧ 年月日	⑨ 記事			⑩ 納付すべき額	⑪ 事業主から領収した額 (月 日)	⑫ 政府へ納付した額 (月 日)	⑬ 事務組合保管額 (⑪-⑫)	⑭ 納付未済額 (⑩-⑫)	⑮ 督促事項 金額	
R5年 5月8日	R4年 1期 確・保険料 追 7月 R5年 概・拠出金・延 10日			25,096	充當 130,011 ()	25,096 (7/10)	104,915	0	【説明】 2. ⑧欄と⑪欄の「8/14」は事業場に返還した日付を記入する。 3. 過納額130,201円から一般拠出金への充当額190円を除いた額 4. 事務組合保管額として残額を記入する。 但し、2行目は『一般拠出金』としての保管額がないため、「0」となる。	
R5年 5月8日	R5年 概・拠出金 延 10日			190	充當 190	190 (7/10)	0	0		
R5年 8月14日	R5年 確・保険料 追 還月 概・拠出金・延 付 日			54,725	8/14	()	50,190	0		
R5年 11月16日	R5年 2期 確・保険料 追 11月 概・拠出金・延 14日			25,095	0	25,095 (11/16)	25,095	0		
R6年 2月15日	R5年 3期 確・保険料 追 2月 概・拠出金・延 14日			25,095	0	25,095 (2/15)	0	0		
年 月 日	年 確・保険料・追 月 概・拠出金・延 日			朱書する	()	()				
年 月 日	年 確・保険料・追 月 概・拠出金・延 日				()	()				

様式第17号(裏面)

前ページの続き

⑧ 年月日	⑨ 記 事	⑩ 納 付 す べ き 額	⑪ 事業主から 領収した額 (月 日)	⑫ 政府へ納 付した額 (月 日)	⑬ 事務組合 保 管 額 (⑪ - ⑫)	⑭ 納 付 未 済 額 (⑩ - ⑫)	⑮ 督 促 事 項					
							金 額	区 分	受 理 年 月 日	通 知 年 月 日	指 定 期 限	
年 月 日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日	円	円 ()	円 ()	円 ()	円 ()	円					
年 月 日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日	円	円	円	円	円	円					
年 月 日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日	円	円	円	円	円	円					
年 月 日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日											
年 月 日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日											
年 月 日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日											
年 月 日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日											
年 月 日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日											
⑯ 返 還 金 額			⑰ 労 災 保 険 の 特 別 加 入 者				備 考					
年月日	記 事	金 額	氏 名	承 認 年 月 日	給 付 基 礎 日 額							
					R4年度	R5年度	年度	年度				
R5.8.14	年度更新による過納額を保険料、一般拠出金に充当したが、還付金が生じたため	54,725 円	〇〇 〇〇	R3.4.2	円 16,000	円 16,000	円	円				

労働保険等

労働保険料等徴収及び納付簿

【例5】

滞納の一括交付を受けた場合

様式第17号(第68条関係)(表面)

労働保険番号		府県	所掌	管轄	基幹番号			枝番号					
① 事業場の区分	② 事業の名称			③ 事業場の所在地(電話)				④ 事業の種類 (労災保険率表による)	⑤ 成立している 保険関係 (イ)労災保険及び雇用保険 (ロ)労災保険 (ハ)雇用保険	⑥ 委託年月日 年 月 日			
⑦ 確定保険料・概算保険料・一般拠出金の額													
R4 年度 確定	(イ)確定保険料 円		(ロ)申告済概算保険料 円		(ハ)充当額((ロ)-(イ)) 円								
	604,154		529,863										
					(ニ)還付額((ロ)-(イ)) 円								
					(ホ)不足額((イ)-(ロ)) 円		74,291						
(ヘ)一般拠出金						1,366							
R5 年度 概算	(ト)概算保険料額		(チ)差引納付額 ((ト)-(ハ))		第1期分		275,677 (201,386)						
	604,154		604,154		第2期分		201,384						
					第3期分		201,384						
⑧ 年月日	⑨ 記事			⑩ 納付すべき額	⑪ 事業主から 領収した額 (月 日)	⑫ 政府へ納 付した額 (月 日)	⑬ 事務組合 保管額 (⑪-⑫)	⑭ 納付 未済額 (⑩-⑫)	⑮ 督促事項 金額 区分 受理年月日 通知年月日 指定期限				
R5年 5月8日	R4 R5年1期	確・保険料・追 既・拠出金・延	7月 10日	275,677	0	0	0	275,677	74,291	R4確不	R5.11.4	R5.11.4	R5.11.24
R5年 5月8日	R5年	確・保険料・追 概・拠出金・延	7月 10日	1,366	0	0	0	1,366	1,366	R5拠	R5.11.4	R5.11.4	R5.11.24
R5年 10月9日	R5年2期	確・保険料・追 既・拠出金・延	11月 14日	201,384	0	0	0	477,061	201,386	R5概1期	R5.11.4	R5.11.4	R5.11.24
R6年 1月26日	R4 R5年1期	確・保険料・追 既・拠出金・延	月 日		275,677 (1/26)	275,677 (1/26)	0	201,384					
R6年 1月26日	R5年	確・保険料・追 概・拠出金・延	月 日		1,366 (1/26)	1,366 (1/26)	0	0					
R6年 1月26日	R5年2期	確・保険料・追 既・拠出金・延	月 日		201,384 (1/26)	201,384 (1/26)	0	0					
R6年 1月26日	R5年3期	確・保険料・追 既・拠出金・延	2月 15日	201,384	201,384 (1/26)	201,384 (2/15)	0	0					

【説明】

1期分、2期分に滞納があり、その後、3期分の交付時期に滞納分を一括交付された。

1. 本欄の納付未済額は滞納を意味し、保険料と一般拠出金を各々分け、累計により記入する。

2. ⑧、⑪欄の1/26は、滞納保険料を事業場から領収した日。

R4確不、R5拠、R5概1期の納付が督促状の指定期限(11/24)を過ぎたため、延滞金が課される。

(*督促状の指定期限は、年度により異なり、記入例では仮の年月日を載せていま

様式第17号(裏面)

前ページの続き

滞納保険料に係る延滞金

⑧ 年月日	⑨ 記 事	⑩ 納 付 す べ き 額 円	⑪ 事業主から 領収した額 (月 日) 円	⑫ 政府へ納 付した額 (月 日) 円	⑬ 事務組合 保 管 額 (⑪ - ⑫) 円	⑭ 納 付 未 済 額 (⑩ - ⑫) 円	⑮ 督 促 事 項						
							金 額 円	区 分	受 理 年 月 日	通 知 年 月 日	指 期 日	定 限	
R6年 1月26日	R4年 確・保険料・追 概・拠出金・延	4,300	4,300 (3/4)	4,300 (3/4)	0	0	円						
R6年 1月26日	R5年 確・保険料・追 概・拠出金・延	11,700	11,700 (3/4)	11,700 (3/4)	0	0	円						
R6年 1月26日	R5年 確・保険料・追 概・拠出金・延	100	100 (3/4)	100 (3/4)	0	0	円						
年 月 日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延												
年 月 日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延		()	()									
年 月 日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延		()	()									
年 月 日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延		()	()									
⑯ 返 還 金 額			⑰ 労 災 保 険 の 特 別 加 入 者				備 考						
年月日	記 事	金 額 円	氏 名	承 認 年 月 日	給 付 基 礎 日 額								
					年 度 円	年 度 円	年 度 円	年 度 円					

労働保険等
労働保険料等徴収及び納付簿

様式第17号(第68条関係)(表面)

【例6】
各期に一部滞納がある場合

労働保険番号		府県	所掌	管轄	基幹番号			枝番号		
① 事業場の区分	② 事業の名称			③ 事業場の所在地(電話)				④ 事業の種類 (労災保険率表による)	⑤ 成立している 保険関係 (イ)労災保険及び雇用保険 (ロ)労災保険 (ハ)雇用保険	⑥ 委託年月日 年 月 日
⑦ 確定保険料・概算保険料・一般拠出金の額										
R4 年度 確定	(イ)確定保険料 円	(ロ)申告済概算保険料 円		(ハ)充当額((ロ)-(イ)) 円	25,985					
	132,701	158,686		(ニ)還付額((ロ)-(イ)) 円						
					(ホ)不足額((イ)-(ロ)) 円					
(ヘ)一般拠出金				398						
R5 年度 概算	(ト)概算保険料額	(チ)差引納付額 ((ト)-(ハ))		第1期分	18,250 (44,235)					
	132,701	106,716		第2期分	(44,233)					
					第3期分	(44,233)				
⑧ 年月日	⑨ 記事			⑩ 納付すべき額	⑪ 事業主から 領収した額 (月 日)	⑫ 政府へ納付した額 (月 日)	⑬ 事務組合 保管額 (⑪-⑫)	⑭ 納付未済額 (⑩-⑫)	⑮ 督促事項 金額 区分 受理年月日 通知年月日 指定期限	
R5年 5月8日	R4年 1期 確・保 概・拠 追 延 出 金 7月 10日			44,235	25,985 10,000 (6/23)	35,985 (7/10)	0	8,250	8,250	R5概1期 R5.10.31 R5.10.31 R5.11.14
R5年 5月8日	R5年 概 確・保 概・拠 追 延 出 金 7月 10日			398	398 (6/22)	398 (7/10)	0	0	12,233	R5概2期 R6.1.9 R6.1.9 R6.1.26
R5年 10月9日	R5年 2期 確・保 概・拠 追 延 出 金 11月 16日			44,233	32,000 (10/12)	32,000 (11/16)	0	20,483		
R5年 11月6日	R5年 1期 確・保 概・拠 追 延 出 金 月 日			8,250	8,250 (11/6)	8,250 (11/6)	0	12,233	4. 督促額=概算2期44,233円-内入れ32,000円	
R6年 1月8日	R5年 3期 確・保 概・拠 追 延 出 金 2月 15日			44,233	44,233 (1/29)	44,233 (2/15)	0	12,233	5. 2期分が督促状指定期限(R6.1.26)後に納付されたため、延滞金が課せられた。	
R6年 1月29日	R5年 2期 確・保 概・拠 追 延 出 金 月 日				12,233 (1/29)	12,233 (1/29)	0	0		
R6年 2月15日	R5年 2期 確・保 概・拠 追 延 出 金 月 日			300	300 (2/15)	300 (2/15)	0	0		

【説明】
1. 概算1期分44,235円の内入れとして、事業主より10,000円の交付を受けた。この内入れ分と前年度からの充当額25,985円を合わせた35,985円を納付した。
2. 2期分の内入れとして32,000円の交付を受け、同額を納付した。
3. ⑧、⑪欄の11/4は滞納保険料を事業場より領収した日を表す。なお、指定期限(R5.11.16)前に納付したため延滞金は発生せず。

労働保険等

労働保険料等徴収及び納付簿

様式第17号(第68条関係)(表面)

**【例7】
年度途中の委託解除に伴う減額確定還付の場合**

労働保険番号		府県	所掌	管轄	基幹番号	枝番号					
① 事業場の区分	② 事業の名称		③ 事業場の所在地(電話)			④ 事業の種類 (労災保険率による)	⑤ 成立している保険関係 (イ) 労災保険及び雇用保険 (ロ) 労災保険	⑥ 委託年月日 年 月 日 解除 R5.12.4			
⑦ 確定保険料・概算保険料							R5.4.1~R5.12.4までの確定保険料	の額			
R4 年度確定	(イ) 確定保険料 円	(ロ) 申告済概算保険料 円	(ハ) 充当額((ロ)-(イ)) 円	(ニ) 還付額((ロ)-(イ)) 円	(ホ) 不足額((イ)-(ロ)) 円	R5 年度確定	(イ) 確定保険料 円	(ロ) 申告済概算保険料 円	(ハ) 充当額((ロ)-(イ)) 円	(ニ) 還付額((ロ)-(イ)) 円	(ホ) 不足額((イ)-(ロ)) 円
	87,456	52,189		35,267		46,496	58,304		11,808		
	(ヘ) 一般拠出金 減額報告により概算3期分は「0」となった。					166	(ヘ) 一般拠出金 86				
R5 年度概算	(ト) 概算保険料額 円	(チ) 差引納付額 ((ト)-(ハ)) 円	第1期分 64,419 (29,152) 円	第2期分 29,152 円	第3期分 減額報告 0 (29,152) 円	年度概算	(ト) 概算保険料額 円	(チ) 差引納付額 ((ト)-(ハ)) 円	第1期分 円	第2期分 円	第3期分 円
	87,456	87,456									
	⑧ 年月日 ⑨ 記事 ⑩ 納付すべき額 ⑪ 事業主から領収した額(月日) ⑫ 政府へ納付した額(月日) ⑬ 事務組合保管額(⑪-⑫) ⑭ 納付未済額(⑩-⑫) ⑮ 督促事項										
R5年 5月8日	R4年 1期 R5年 1期	確・保険料・追 概・拠出金・延	7月 10日	64,419 円	64,419 円 (6/23)	64,419 円 (7/10)	0	0 円	【説明】 1. 既に納付した『概算保険料』を記入する(この場合は、概算1期29,152円および2期29,152円であり、確定不足額35,267円は除く)。		
R5年 5月8日	R5年 概	確・保険料・追 概・拠出金・延	7月 10日	166	166 (6/23)	166 (7/10)	0	0	2. 確定精算の結果、過納分11,808円が生じたが、一般拠出金86円へ充当したので、差額11,722円を還付した。		
R5年 10月9日	R5年 2期	確・保険料・追 概・拠出金・延	11月 16日	29,152	29,152 (10/23)	29,152 (11/16)	0	0	3. 還付について裏面の「返還金額」欄に記入する。		
R6年 2月16日	R5年 概	確・保険料・追 概・拠出金・延	月 日	86	充當 86 ()	86 (2/15)					
R6年 2月22日	R5年 概	確・保険料・追 概・拠出金・延	運 付 日		11,722 (2/22)						
年月日	年	確・保険料・追 概・拠出金・延	月 日						朱書する		
年月日	年	確・保険料・追 概・拠出金・延	月 日								

労働保険等
労働保険料等徴収及び納付簿

様式第17号(第68条関係)(表面)

【例8】
年度末(3/31)の委託解除
(個別移行)に伴う還付の場合

労働保険番号		府県	所掌	管轄	基幹番号	枝番号		
① 事業場の区分	② 事業の名称		③ 事業場の所在地(電話)			④ 事業の種類 (労災保険率表による)	⑤ 成立している 保険関係 (イ)労災保険及び雇用保険 (ロ)労災保険 (ハ)雇用保険	⑥ 委託年月日 年 月 日 解除 R5.3.31
⑦ 確定保険料・概算保険料・一般拠出金の額								
R4 年度 確定	(イ)確定保険料 円	(ロ)申告済概算保険料 円	(ハ)充当額((ロ)-(イ)) 円					【説明】 確定精算した結果、保険料に過納分31,809円があったため、一般拠出金に充当したが、それでもなお、過納分があったため、事業場へ還付した。 1. 還付について裏面「返還金額」にも記入すること。 2. 年度末の委託解除に伴う還付金の一般拠出金への充当については、事業場の意思を書面または口頭で確認のうえ、事務組合での納付も可とする。
	125,461	157,270	31,809					
	(ヘ)一般拠出金			387				
年度 概算	(ト)概算保険料額	(チ)差引納付額 ((ト)-(ハ))	第1期分					
			第2期分					
			第3期分					
⑧ 年月日	⑨ 記事	⑩ 納付すべき額	⑪ 事業主から 領収した額 (月 日)	⑫ 政府へ納 付した額 (月 日)	⑬ 事務組合 保管額 (⑩-⑫)	⑭ 納付未 済額 (⑩-⑬)	⑮ 督促事項 金額	
R5年 7月10日	R5年 確・保険料・追 概・拠出金・延 7月10日	387	充當387円 ()	387 (7/10)	0	0	【説明】 3. 委託事業場への還付金を還付した日	
R5年 7月27日	R4年 確・保険料・追 概・拠出金・延 還付日		31,422 (7/22)		0	0		
年月日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 日		()	()				
年月日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 日		()	()				
年月日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 日		()	()				
年月日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 日		()	()				
年月日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 日		()	()				

朱書する

労働保険等
労働保険料等徴収及び納付簿

様式第17号(第68条関係)(表面)

【例9】
6/1~9/15の間に新規成立した
場合

労働保険番号		府県	所掌	管轄	基幹番号			枝番号					
① 事業場の区分	② 事業の名称				③ 事業場の所在地(電話)			④ 事業の種類 (労災保険率表による)	⑤ 成立している 保険関係 (イ) 労災保険及び雇用保険 (ロ) 労災保険 (ハ) 雇用保険	⑥ 委託年月日 R5年7月1日			
⑦ 確定保険料・概算保険料・一般拠出金の額													
年度 確定	(イ) 確定保険料	(ロ) 申告済概算保険料	(ハ) 充当額((ロ)-(イ))		R5年度確定		(イ) 確定保険料	(ロ) 申告済概算保険料	(ハ) 充当額((ロ)-(イ))				
	円	円	円		円		円	円	円				
			(ニ) 還付額((ロ)-(イ))		71,996		71,996	76,996	(ニ) 還付額((ロ)-(イ))				
			(ホ) 不足額((イ)-(ロ))						(ホ) 不足額((イ)-(ロ))				
(ヘ) 一般拠出金					(ヘ) 一般拠出金								
					194 円								
R5年度 概算	(ト) 概算保険料額	(チ) 差引納付額 ((ト)-(ハ))	第1期分		増額 報告	R6年度 概算	(ト) 概算保険料額	(チ) 差引納付額 ((ト)-(ハ))	第1期分				
	76,996	76,996	円				38,498	71,996	66,996	円			
			第2期分				38,498			円			
			第3期分				38,498			円			
⑧ 年月日													
⑨ 記事		⑩ 納付すべき額		⑪ 事業主から領収した額 (月 日)		⑫ 政府へ納付した額 (月 日)		⑬ 事務組合保管額 (⑩-⑫)		⑭ 納付未済額 (⑩-⑫)		⑮ 督促事項 金額	
R5年 10月10日	R5年 2期 確・保険料・追 概・搬出金・延 11月 16日	38,498 円		38,498 円 (10/24)		38,498 円 (11/16)		0 円		0 円		<p style="color: red;">【説明】</p> <p style="color: red;">1. 増額訂正報告した概算保険料を記入する。</p> <p style="color: red;">2. 6/25は19,000円を領収した日を表す。</p>	
R6年 1月9日	R5年 3期 確・保険料・追 概・搬出金・延 2月 15日	38,498		38,498 (1/29)		38,498 (2/15)		0		0			
R6年 5月7日	R5年 1期 確・保険料・追 概・搬出金・延 7月 12日	24,000		充當 5,000 19,000 (6/25)		24,000 (7/10)		0		0			
R6年 5月7日	R6年 概・保険料・追 概・搬出金・延 7月 12日	194		194 (6/25)		194 (7/10)		0		0			
R6年 10月9日	R6年 2期 確・保険料・追 概・搬出金・延 11月 16日	23,998		23,998 (10/29)		23,998 (11/16)		0		0			
R7年 1月8日	R6年 3期 確・保険料・追 概・搬出金・延 2月 15日	23,998		23,998 (1/31)		23,998 (2/15)		0		0			
年 月 日	年 確・保険料・追 概・搬出金・延 月 日			()		()							

労働保険等

労働保険料等徴収及び納付簿

様式第17号(第68条関係)(表面)

【例10】
9/16~12/15の間に新規成立
委託した場合

労働保険番号		府県	所掌	管轄	基幹番号			枝番号		
① 事業場の区分	② 事業の名称			③ 事業場の所在地(電話)				④ 事業の種類 (労災保険率表による)	⑤ 成立している 保険関係 (イ)労災保険及び雇用保険 (ロ)労災保険 (ハ)雇用保険	⑥ 委託年月日 R5年10月1日 ¹
⑦ 確定保険料・概算保険料・一般拠出金の額										
年度 確定	(イ)確定保険料	(ロ)申告済概算保険料	(ハ) 充当額((ロ)-(イ))	円						
			(ニ) 還付額((ロ)-(イ))	円						
			(ホ) 不足額((イ)-(ロ))	円						
(ヘ) 一般拠出金		円								
R5 年度 概算	(ト) 概算保険料額	(チ) 差引納付額 ((ト)-(ハ))	第1期分	増額報告	円					
	96,552	96,552	第2期分		円					
			第3期分	96,552	円					
⑧ 年月日	⑨ 記事			⑩ 納付すべき額	⑪ 事業主から 領収した額 (月 日)	⑫ 政府へ納 付した額 (月 日)	⑬ 事務組合 保管額 (⑩-⑫)	⑭ 納付 未済額 (⑩-⑫)	⑮ 督促事項 金額 区分 受理年月日 通知年月日 指定期限	
R6年 1月9日	R5年 3期 確・保険料・追 2月 16日 概・拠出金・延			96,552 円	96,552 円 (1/29)	96,552 円 (2/14)	0	0 円		
年月日	年 確・保険料・追 月 概・拠出金・延 日				()	()				
年月日	年 確・保険料・追 月 概・拠出金・延 日				()	()				
年月日	年 確・保険料・追 月 概・拠出金・延 日				()	()				
年月日	年 確・保険料・追 月 概・拠出金・延 日				()	()				
年月日	年 確・保険料・追 月 概・拠出金・延 日				()	()				
年月日	年 確・保険料・追 月 概・拠出金・延 日				()	()				

【説明】
1. 増額訂正報告した概算保険料を記入する。

労働保険等
労働保険料等徴収及び納付簿

様式第17号(第68条関係)(表面)

【例11】
12/16以降に新規成立委託した場合
(概算保険料の交付を受けた場合)

労働保険番号		府県	所掌	管轄	基幹番号			枝番号					
① 事業場の区分	② 事業の名称				③ 事業場の所在地(電話)			④ 事業の種類 (労災保険率表による)	⑤ 成立している 保険関係 (イ) 労災保険及び雇用保険 (ロ) 労災保険 (ハ) 雇用保険	⑥ 委託年月日 R6年1月5日			
⑦ 確定保険料・概算保険料・一般拠出金の額													
年度 確定	(イ) 確定保険料 円		(ロ) 申告済概算保険料 円		(ハ) 充当額((ロ)-(イ)) 円		R5 年度 確定	(イ) 確定保険料 円		(ロ) 申告済概算保険料 円		(ハ) 充当額((ロ)-(イ)) 円	
					(ニ) 還付額((ロ)-(イ)) 円			205,915		(156,823)		(ニ) 還付額((ロ)-(イ)) 円	
					(ホ) 不足額((イ)-(ロ)) 円							(ホ) 不足額((イ)-(ロ)) 円	
												205,915 (49,092) 円	
(ヘ) 一般拠出金					(ヘ) 一般拠出金					807 円			
R5 年度 概算	(ト) 概算保険料額		(チ) 差引納付額 ((ト)-(ハ))		第1期分		R6 年度 概算	(ト) 概算保険料額		(チ) 差引納付額 ((ト)-(ハ))		第1期分	
	156,823		156,823					258,424		258,424		292,057 (86,142) 円	
					第2期分							第2期分	
					第3期分							第3期分	
												86,141	
												86,141	
⑧ 年月日	⑨ 記事			⑩ 納付すべき額	⑪ 事業主から 領収した額 (月 日)	⑫ 政府へ納 付した額 (月 日)	⑬ 事務組合 保管額 (⑩-⑫)	⑭ 納付未 済額 (⑩-⑬)	⑮ 督促事項 金額				
R6年 1月9日	R5年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日			円	156,823 (1/10) 円	0 円	156,823 円	0 円					
R6年 5月7日	R5年 確・保険料・追 R6年 概・拠出金・延 7月 10日			292,057	135,234 (6/25) 円	292,057 (7/10) 円	0	0					
R6年 5月7日	R6年 確・保険料・追 概・拠出金・延 7月 10日			807	807 (6/25) 円	807 (7/10) 円	0	0					
R6年 10月9日	R6年 確・保険料・追 概・拠出金・延 11月 14日			86,141	86,141 (10/29) 円	86,141 (11/14) 円	0	0					
R7年 1月8日	R6年 確・保険料・追 概・拠出金・延 2月 15日			86,141	86,141	86,141	0	0					
年月日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日				()	()							
年月日	年 確・保険料・追 概・拠出金・延 月 日				()	()							

【説明】
1. 増額訂正報告が未申告のため申告済概算保険料は「0」となる。()内は交付を受けた額を表している。
2. R5年度概算保険料は実際には納付していないため、確定不足額は205,915円となる。そのうち156,823円は領収済みである。()内は実際の不足額を表す。
3. R5年度確定額(205,915)とR6年度概算1期分(86,142)を足した金額。

労働保険等

組機様式第11号

令和 5 年度

労働保険料等徴収及び納付簿

【例12】

組機様式による記載例

労働保険番号	府県	所管	管轄	基幹番号

事務組合名

枝番号	事業場の名称 (電話番号)	確定保険料関係		概算保険料関係		第1期(全期)			第2期			第3期			督促事項および追徴金 延滞金等領収・納付状況	予備欄			
		確定保険料 申告済概算保険料 過納額(還付額)	不足額	事業主 から領 収した 月日	政府へ 納した 月日	概算保険料 充 当 額 本年度概算徴収額	事業主 から領 収した 月日	政府へ 納した 月日	第1期(全期)	事業主 から領 収した 月日	政府へ 納した 月日	第2期	事業主 から領 収した 月日	政府へ 納した 月日		第3期	事業主 から領 収した 月日	政府へ 納した 月日	第1期(全期)
【例1】 A社	確定不足が生じた場合	257,455	108,547	6/23	7/10	257,455	85,819	6/23	7/10	85,818	10/27	11/16	85,818	1/29	2/15	口座振替 ()内の金額は当年度の概算1期として算出された金額を表す。			
		148,908				257,455													
【例2】 B社	全期分が一括交付された場合	132,701				132,701	(44,235)	6/23	7/10	44,233	6/23	11/16	44,233	6/23	2/15	口座振替 概算1期に納付した金額を表す。			
		158,686				25,985	18,250			44,235									
		25,985				106,716													
【例3】 C社	過納により充当が生じた場合	87,426				87,426	(29,142)			29,142	7/10		29,142	11/16	2/15	口座振替 概算1期分、2期分は全額充当され、3期分は一部まで充当された。残額20,484円は1/26に領収した。			
		154,368				66,942	0			29,142			29,142						
		66,942				20,484													
【例4】 D社	過納により充当及び還付が生じた場合	75,286				75,286	(25,096)			25,095	7/10		25,095	11/16	2/15	過納分を概算保険料全期分及び一般抛入金へ充当してもまだ、残額があるため、還付した。 *督促状の指定期限等は年度により異なり、記入例では仮の年月日を載せてあります。			
		205,487				75,286	0			25,096			25,095						
		130,201				0													
【例5】 E社	滞納の一括交付を受けた場合	604,154	74,291	1/26	1/26	604,154	201,386	1/26	1/26	201,384	1/26	1/26	201,384	1/26	2/15	督促指定期限を越えたため延滞金が課せられる。 R4確不 R5.11.4 R5.11.4 R5.11.24 R5抛 R5.11.4 R5.11.4 R5.11.24 R5.1期 R5.11.4 R5.11.4 R5.11.24			
		529,863	延 4,300	3/4	3/4	604,154	延 11,700	3/4	3/4										

労働保険等

組機様式第11号

令和 5 年度

労働保険料等徴収及び納付簿

労働保険番号	府県	所掌	管轄	基幹番号
.....

事務組合名

枝番号	事業場の名称 (電話番号)	確定保険料関係		概算保険料関係										督促事項および追徴金				予備欄				
		確定保険料 申告済概算保険料 過納額(還付額)	不足額	事業主 から領 収した 日	政府へ 納付 した 日	概算保険料 充 当 額 本年度概算徴収額	第1期(全期)	事業主 から領 収した 日	政府へ 納付 した 日	第2期	事業主 から領 収した 日	政府へ 納付 した 日	第3期	事業主 から領 収した 日	政府へ 納付 した 日	督促事項および追徴金 延滞金等領収・納付状況				第1期(全期)	領収 月日	
【例6】 F社 各期に一部滞納がある場合		132,701	18,250円は概算1期に 領収すべき金額			132,701	(44,235)			44,233			44,233	1/29	2/15	年	受	通	指			
		158,686				25,985	未済	領収	未済	領収						R5.1期	R5.1.4	R5.1.4	R5.1.24			
		25,985	1期分の内入れと して10,000円の交 付を受けている。			106,716	44,235	25,985	充	7/10	44,233	32,000	10/10	11/16	指定期限2/4を過 ぎて納付したた め、延滞金が課 せられる。							
							18,250	10,000	充	7/10	12,233	12,233	1/29	1/29			R5.2期	R6.1.15	R6.1.15	R6.2.4		
【例7】 G社 年度途中の委託解除に 伴う減額確定還付の場 合 委託解除(R5.12.4)		87,456		6/23	7/10	46,496	29,152	6/23	7/10	17,344			0									
		52,189				(87,456)				還付	11,722	10/27	2/20	減額後の確定額								
			朱書きする			46,496																
【例8】 H社 年度末(3月31日)委託 解除(個別移行)に伴う 還付の場合 委託解除(R5.3.31)		125,461																				
		157,270																				
		31,809	(還付) 31,422	7/17																		
【例9】 I社 6/1~9/15の間に新規成 立し事務委託した場合の配 入例 新規成立委託(R5.7.1)						76,996																
						76,996																

144

